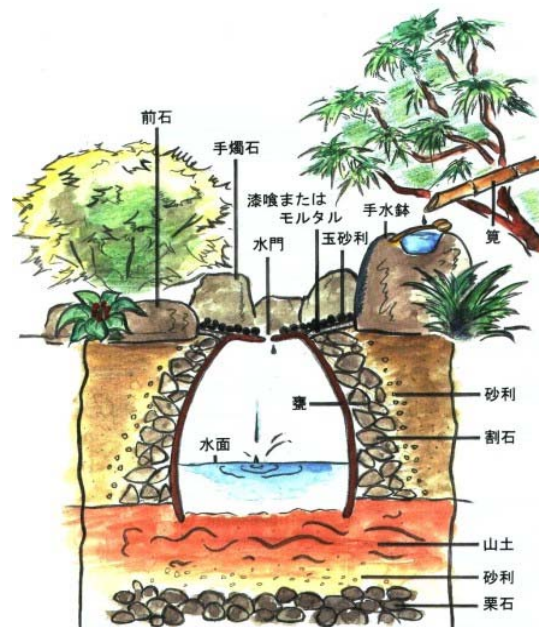


## 54.<水(排水)に命を・・・「水琴窟」>

皆さんは水琴窟（すいきんくつ）という言葉を目にしたことがありますか？  
神社、仏閣巡りの好きな方なら聞いたことがあるのではないのでしょうか。

水琴窟は日本独自の庭園施設で、蹲踞（つくばい）の排水を集め、土の中に逆さに埋めた瓶（瓶底に穴を開ける）に流し込むことで、琴の音色に似たとても心地よい音を反響させる装置です。

簡単な構造を以下に示します。（出展：NPO 日本水琴窟フォーラム）



伝統的な「つくばい水琴窟」の断面図

江戸時代から昭和の初期まで全国各地で盛んに造られたようですが、戦争の激化と共に造る人も無くなり、戦後は全く忘れられた存在となってしまいました。

ところが最近、街中で水琴窟や、水琴窟関連商品を目にする機会が増えてきました。水琴窟の音色CDが発売されたり、ホームセンターなどでは自宅の玄関に置けるものが売られていたり、ちょっとした水琴窟ブームのようです。

水琴窟の詳しい歴史や構造については以下に紹介するホームページを参照して下さい。

さて、私たちの先祖は蹲踞（つくばい）や獅子嚇し（ししおどし）、そして水

琴窟など水で遊ぶ心を大切にしていました。また、これらの技術はシンプルでありながら実用性も高く、時代を超えて引き継がれています。水琴窟は排水を上手に利用した装置であり、我々下水道技術者の先輩が考え出したすばらしいアイデアと言えます。

下水道に携わる現代の技術者として、水琴窟のように人の心に感動を与えるものを造れないかとよく考えます。まず、先祖の技術に敬意をはらい、処理場に水琴窟はいかがでしょうか？

参考:NPO 日本水琴窟フォーラム(この HP で水琴窟の音色を聞くことができます。)

<http://www.suikinkutsu.com/>

< 山本 博英 >

※No. 60(2006/11/8)に掲載